

<b>4-CPA液剤 トマトーン</b>	<b>取扱メーカー：</b> 石原、日産、日農、ホクサン  <b>原体メーカー：</b> 石原産業・日産
<b>成分：</b> 4-CPA〔オーキシシン剤〕……………0.15%	<b>性状：</b> 無色透明液体 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】……………

- 植物ホルモンのオーキシシン様活性によりトマト、なす、メロンなどに対して着果、肥大、熟期を促進する。
- 低温、日照不足などの条件下でも着実に着果させる。
- 石なす防止効果がある。
- 初期収穫量の増加が期待できる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

#### 〈トマト〉

- 使用時期は、トマトの開花前3日～開花後3日位に、1花房で3～5花位開花した時が適期である。
- 花房を手でつまんで、水溶液を頂芽や幼葉にかからないように噴霧する。噴霧量はごく少量で花房又は花が濡れる程度とする。
- 使用時の温度により効果が変わるので、20℃以下の低温時には希釈倍数を50倍とし、20℃以上の高温時には希釈倍数を100倍とする。

#### 〈なす〉

- 使用時期は開花当日。
- 方法は開花した花ごとにトマトと同様花が濡れる程度に噴霧する。
- 希釈倍数は温度に関係なく50倍液とする。

#### 〈メロン〉

- 子房にのみ噴霧する時は、使用時期にかかわらず人工授粉を併用する。
- 低温時（20℃以下）には希釈倍数を低くし、適用希釈倍数の範囲内で高濃度で処理する。

#### 〈ズッキーニ〉

- 生育初期の雄花が少ない時期は結実が不安定であり、十分な効果が期待できないので使用しない。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- 希釈倍数を正確に守る。
- 同じ花房に重複散布しない。
- 頂芽や幼葉にかかると、その部分が萎縮したようになるので、花又は花房にだけかける。
- 使い残りの希釈液は4週間程度まで保存できるが、なるべく早く使用する。
- 効果の有無は、散布後2～3日すると果梗が太くなり幼果のつやが増し、非常に発育が早くなるため、判別可能。
- 他の農薬との混用は行わない。
- 器具は使用の前後によく水洗いする。

### 【安全対策上の注意】……………

- アンプルの首部分を割る時は、眼や体から離して取扱う。



【適用と使用法】 .....

作物名	使用目的	使用時期	本剤の 使用回数	希釈倍数	使用 方法	4-CPAを含む農 薬の総使用回数
ト マ ト	着果促進 果実の肥大促進 熟期の促進	開花前3日～ 開花後3日位 1花房で3 ～5花位 開花した時期	1花房 につき1回	低温時 (20℃以下) 50倍	散布	1花房 につき1回
				高温時 (20℃以上) 100倍		
ミニトマト		開花前3日～ 開花後3日位	1花につき 1回	低温時 (20℃以下) 50倍		1花につき 1回
	高温時 (20℃以上) 100倍					
な す		開花当日	1花房 につき1回	50倍		1花房 につき1回
メ ロ ン	着果促進	開花前日～翌日	花こう部に 1回	3～5倍	塗布	1花につき 1回
しろうり			花に1回	25～100倍	散布	
ズッキーニ		50倍				